## 「おくすり手帳」とは?

処方されたお薬の情報を記録し、お薬の履歴を管理する手帳です

お薬の 名 前 おくすり手帳の目的は 飲む量 自分が飲んでいるお 薬の履歴の一元管理 です。

# かかりつけ以外の病院かかりつけ以外の薬局

に行った場合でも、服用中の薬の情報が正しく伝えることができます。飲み合わせなど、さまざまなお薬のトラブルをあらかじめ回避できることで、ご自身の健康管理にも役立ちます。





## こんな方に役立ちます

◎医療機関にかかる頻度が高い方

複数の医療機関にかかっている場合など、飲み合わせのリスクやお薬 が重複して処方されるリスクを減らせます。

◎持病のある方

いつも飲んでいるお薬がすぐに分かります。記録をきちんと持ち歩いておけば、緊急時にも安心です。

◎お子様(ご両親)

お薬の履歴が残り、お子様(ご両親)の健康管理に役立ちます。



### こんな時に役立ちます

◎災害などの緊急時に

服用中のお薬、かかりつけの病院や薬局が分かります。 現在お薬を服用している方は、いざという時のためいつも携帯してお きましょう。

◎急にお薬が必要になったときに

急に具合が悪くなって救急外来に行った場合など、普段飲んでいるお薬があるかを尋ねられます。お薬手帳を確認してもらうと安心です。

#### 受付でお預かりしたおくすり手帳は





お薬の名前



用法•用量



薬を渡した日

など大切な情報を記入してお返しします。

#### また、患者様自身が

- ●副作用歴」
- ●アレルギーの有無
- 過去にかかった病気

などを記入することもできます。

お薬手帳を忘れるたびに 新しく作ってもらっている方 医療機関、薬局ごとに 分けて使っている方



A 診療所用



B クリニック用



新しく作って もらった手帳

何冊かに分かれてしまうと、お薬の情報が分散してしまい、 医師や薬剤師に正確な情報が伝わらなくなります。





来局時には、処方箋と一緒に

「おくすり手帳」をご提示ください。